

サ・メッセージ

あたたかな心のメッセージ

San Message

地域の中でトータルな心のケアと社会復帰を支える



豊田西病院 広報誌
2008.5.1 Vol.24

24

患者さんとのよりよい 関係づくりのための10の指針

院長 坪井 重博



豊田西病院では、急性期治療を中心にした入院治療、デイ・ケア、訪問看護など地域生活支援を含めた外来診療、社会復帰支援の3つの柱を通じて、地域精神科医療を提供しています。

今回は、患者さんとのよりよい関係づくりのため、また、よりよい病院作りのため、職員ひとりひとりが日頃から心がけている10の指針をご紹介します。

- ① どんな症状も、患者さん自身のせいではなく、「病（やまい）」から生じるものと考えること。
- ② 患者さんに接しているときの自分自身の「こころ」の動きを意識し、親切でしっかりとした態度で接すること。
- ③ どの患者さんも、その「ひと」なりの人生を歩みながら「病」と闘っている事を考え、その「ひと」の自尊心に配慮すること。
- ④ 治療や世話を受ける側の「ひと」の立場に立って考え行動すること。
- ⑤ 患者さんを抱える周囲の「ひと」が背負う重荷にも気を配ること。

- ⑥ 患者さんのために「今、何ができるか」をいつも考えること。
- ⑦ 日々の仕事の中で、感動する心を忘れずにいること。
- ⑧ 専門知識や技術習得を通じて自己の向上を目指し、患者さんへのよりよい精神科医療の提供に努力すること。
- ⑨ 各自の役割を自覚し、お互いを尊重し感謝しながら、チームワークを大切にして連携すること。
- ⑩ 人権とプライバシーに配慮し、守秘義務を守ること。

少しでも多くの患者さんのお話を、「耳」だけで聴くのではなく、「こころ」で聴く努力を重ねてまいります。当院のモットーである「ホスピタリティ(歓待する。親切にもてなす。)」を、患者さん方やご家族お一人お一人にいつも感じていただけるような病院づくりに、職員一同、ますます努力と創意工夫を重ねていきたいと思っています。今後とも多くのご支援をお願い申し上げます。



「防災体験学習」

五感で体験し、
訓練の必要性を痛感

平成19年12月12日(水)グループホームの入居者を対象に、豊田市消防本部の防災センターから出張していただき、煙道体験・初期消火訓練・地震体験車等の『防災体験学習』を行いました。

煙道体験では、グループホームの一部屋を煙で充満させ、実際の火災現場の煙(人体に影響のない煙)を想定した訓練が行われました。前の人の肩を持って離れないようにとの指示にも、すっかり動揺して離れてしまいパニックになった方もいらっしゃいました。「訓練とわかっていても、煙の勢いがすごくて前がまったく見えず怖かった」「ほんとうだと身動きが取れないかも」と皆さ



んは感じたままの恐怖感を話してくれました。

初期消火訓練では、水の入った消火器で使い方の訓練を行いました。皆さんは思ったよりうまく的に命中させることができ、無事消火となりました。

地震体験車では、震度3～7まで段階的に体験しました。震度7はこれまで感じたことのない揺れで、体験車とわかっていてもかなりの恐怖でした。実際の地震は、きっと今回の体験以上の揺れと恐怖を感じるのでしょうか。

今回は体験なので、「くるぞっ!」という意識が働き、ゆっくりかまえることができましたが、急

に火災や地震に遭遇したら、どう動けるか心配です。日頃から訓練して、自分の身を守ることや避難することを覚えていただき、今回の「見て」「聞いて」「触れて」五感で体験したことが「いざ!」という時に役に立つのではないかと痛感しました。

消防署の方から、「皆さんが真剣に取り組んでいる姿は、好感がもてました。今日の訓練で何かがきつと残ったと思います」という講評をいただき、体験学習を無事終えました。

今回の体験が、きっと「いざ!」という時に役に立つことを願っています。



「春の旅行」

地底探検と
イチゴ狩りを満喫

気温もぐっと上がった3月8日(土)、絶好の行楽日和に恵まれたサン・ヴィレッジ恒例春の旅行。今年は皆さんの希望で日帰りのバス旅行となり、総勢45名で浜名湖方面へ出かけました。

最初に向かったのは、竜ヶ岩洞。鍾乳洞内400mの探検では地底の神秘に圧倒され、メンバーさんは1秒ごとに驚きの声をあげていました。

昼食はホテルでバイキング料理。バイキングは何度も行っているので慣れたものです!何十種類もある料理を、端から順番に攻める人、美味しいものから攻める人、つい食べ過ぎてズボンのベルトをゆるめる姿も見られました。お腹いっ



ぱいになった食後は、花満開の浜名湖フラワーパークの散策です。快晴の青空に暖かい陽射し、心地よい風に漂う花の香りに酔いしれました。

適度な運動で、お腹に少し隙間ができ始めたかなあと思う頃、今回の旅行のメインイベントであるイチゴ狩です!広いハウス一面、真っ赤に実ったイチゴに「わーっ」と大歓声。甘い甘い香りに



誘われて、一人平均2パック以上は食べたでしょうか。デザートは別腹、という法則は存在すると実感しました。

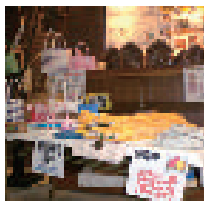
今回の旅行は、お腹も満足、心もリフレッシュ、皆で仲良く、笑いあり感動ありの楽しい旅行になりました。



「臨時庭先販売」 外来ロビーの販売で、たくさんの反響!

サン障害福祉サービス/サン・ワークショップでは、毎月第1月曜日にサン・ワークショップの駐車場(雨天時は玄関先)で庭先販売を行っています。地域の方々も利用してくださるなど、いつも協力いただいています。

今回は臨時で、外来ロビーで販売をしました。多くの方々に作品等を購入していただき、いろいろな意見も聞くことができました。たくさんの意見を参考にしながら、今後の作品作りに生かしていきたいと思っています。



次回も、外来患者様の受診のご迷惑にならないよう配慮しながら、臨時販売を計画しております。機会がありましたら、ぜひ作品を手にとってご覧ください。

看護の現場から



患者さんのよい聞き手になります

入院生活の中で、患者さんはどんなことに一番困っていらっしゃるのでしょうか？ 私たち看護職員は、つねにこの問いを考えながらお世話をさせていただいています。患者さんが入院された直後は、生活環境が一時的に変わってしまうので戸惑いがちです。そして、誰に・いつ・どこで・どのように声をかけたらよいか悩む方も多くおられます。そんな時、看護職員がいち早く察して、声かけをするよう心がけています。

看護の基本は、「受容」「共感」です。「受容」とは、まず悩める患者さんのよい聞き手になることです。「共感」とは共に苦しみ、共に喜ぶことです。この看護の基本があるからこそ、患者さんは心を開いてくださり、そこから新たな人間関係・治療関係が確立し、退院への第一歩がスタートします。

看護職員はいつも 患者さんのそばにいます。



新藤 琢生 医師

「うつ病」への理解

最近、新聞やテレビのニュースなどでとりあげられているように、うつ病の患者さんの数が増え社会的な問題となっています。

「うつ」という言葉は、感情の状態を表現する場合など、日常でもよく使われます。軽い気分の落ち込みであれば誰でも経験しますが、うつ病と診断されるのはどんなときでしょうか。

気分が沈んでつねに悲しい気持ちとなったり、今まで好きだったことが楽しめなくなったりすることが、2週間以上にわたって続いたときに、うつ病の可能性が疑われます。うつ病と診断された際には、早めの休息が必要となります。重大な決定は先送りし、

- 1 SSRI... 選択的セロトニン再取り込み阻害薬。とくに不安・焦燥に有効です。
- 2 SNRI... セロトニン及びノルアドレナリンの両者の再取り込み阻害薬。とくに、精神運動賦活や欲動に有効です。

まずはゆっくり休養ができる環境を確保できるよう主治医と相談しましょう。またSSRI^{*1}やSNRI^{*2}とよばれる、副作用の軽い治療薬も使用できるようになり、以前に比べ安全な薬物療法を受けることができます。うつ病患者さんの増加に伴い、メンタルヘルスケアの重要性が注目されますが、適切な治療を受けている方はまだまだ少ないといわれているのが現状です。

こころが疲れたら、がんばりすぎずに、信頼できる人や病院で相談することが大切です。

医師紹介

佐川 竜一 医師

みなさま、はじめまして。この4月、豊田西病院に着任した佐川と申します。

これまで私はおもに総合病院の精神科に勤務し、身体合併症（とくにガン）を持つ患者さんの心のケアを中心に携ってきました。私たちの心と体を切り離して考える事はできません。これまでの経験を生かして、これからも幅広い視点で治療のお役に立ちたいと思っておりますので、何でもお気軽にご相談ください。



竹内 浩 医師

平成20年4月より毎週火曜日に勤務させて頂いております。午前と午後の外来を担当しておりますので、外来診察室でお目にかかることも多いかと思いますが、よろしくお願いたします。

精神科医として、大学病院や総合病院、また行政の中でも働いてきましたが、当院のような精神科専門病院での経験は少なく、これから学ばせていただくことも多いかと思っております。特に当院は愛知県内でも先進的に精神障害者の社会復帰について考えてこられ、いくつもの施設を有し、支援体制も充実しています。そのような病院において、少しでも私の経験を生かしていくことができればと考えております。



! information

豊田西病院インフォメーション

常に質の高い精神科医療の提供を目指して日々変化する豊田西病院。

このコーナーでは、そんな豊田西病院の最新情報をお届けしていきます。

4月からの外来診療体制のご案内

4月から「夜間診療」をはじめさせて頂きました。従来は、午前受付と午後受付のみだったため、お仕事の関係でなかなか時間があわないという声を多く頂戴しておりました。今回、週3回(月曜・火曜・木曜)の夜間受付<午後4時30分～午後6時30分>診療時間<午後5時～午後7時>の時間帯にて始めさせて頂きました。また、初めての受診の場合は、午後時間枠にて予約受付も行ってまいります。予約受付・夜間診療問い合わせは、事務室・相談心理室へお願いします。

お問い合わせ TEL ▶ 0565-48-8331

午前診療					午後診療		夜間診療
曜日	第1診察	第2診察	第3診察	第4診察	第1診察	第2診察	第1診察
月曜	おおはしなおよ 大橋直哉	もりせいじ 森省二	つばいひろつぐ 坪井弘次	おのひろし 小野宏	つばいしげひろ 坪井重博	初診紹介・ 初診予約受付	さがわりゆういち 佐川竜一
火曜	しんどうたくお 新藤琢生	たけうちひろし 竹内浩	やまぐちちから 山口力		たけうちひろし 竹内浩		しながわよしひろ 品川好広
水曜	つばいしげひろ 坪井重博	さがわりゆういち 佐川竜一	にしがきまこと 西垣誠		しまひろあき 嶋宏昭		
木曜	しまひろあき 嶋宏昭	もりせいじ 森省二	おおはしなおよ 大橋直哉		おのひろし 小野宏		しんどうたくお 新藤琢生
金曜	おおはしなおよ 大橋直哉	さがわりゆういち 佐川竜一	にしがきまこと 西垣誠		かとうひろこ 加藤裕子		
土曜	つばいしげひろ 坪井重博	しまひろあき 嶋宏昭	しんどうたくお 新藤琢生	おおはしなおよ/にしがきまこと 大橋直哉/西垣誠			
日曜・祝日	休診						
受付時間	午前8時10分 ↓ 午後6時30分		① 午前診療時間……… 午前9時～午後12時(午前受付…11時30分まで) ② 午後診療時間… 午後1時30分～午後3時(午後受付…午後2時30分まで) ③ 夜間診療時間… 午後5時00分～午後7時(夜間受付…午後6時30分まで)				

本のご紹介“じかんぐすり”

外来カウンターで、一冊の絵本を紹介しています。この絵本は、子どもが病気がかかったとき、ケガをしたときに、お母さんがよく話をした内容が絵本になっています。心や体がちょっと疲れた時、元気が出ない時にそっと寄り添ってくれるお友達、そんな絵本に出会いました。作者のご好意により、レプリカを置かせていただくことができました。ぜひ、ご覧ください。



ホームページが新しくなりました

4月1日からホームページが新しくなりました。ぜひ、一度ご覧ください。

<http://www.toyotawest.or.jp/>

西方見聞録

環境美化活動

[4月6日(日)]

当院、環境美化委員会を中心に「クリーン戦隊 ゴミレンジャー」と称して、環境美化活動として、年4回近隣地区環境美化活動を行っております。当日は、35名の職員により、浄水駅、保見駅の歩道、沿道の空缶、ゴミ回収を行いました。今回で、4回目となり、初夏を思わせるような汗ばむ陽気でしたが、心地よい汗をかくことができました。



編集後記

年々桜の開花が早くなっています。4月始めは、本当にきれいに咲き誇った当院玄関前の桜もいつのまにか桜吹雪となり、新年度のスタートを告げてくれました。毎年、この季節になると新たな年度の始まりに気持ちの引き締まる思いがします。自然に恵まれた環境下にある当院は、季節の移り変わりをひしひしと肌で感じることができます。新しい仲間も加わり、開院40周年を迎える節目の年になります。今年度も広報誌は少しでも皆様のお役に立てるような誌面づくり、情報発信ができるよう努めてまいります。(K)



病院玄関前の桜

豊田西病院 広報誌

サン・メッセージ

San Message

平成20年5月1日発行 第24号



医療法人 研精会

豊田西病院

〒470-0344 愛知県豊田市保見町横山100番地
TEL. 0565-48-8331 FAX. 0565-48-8318
<http://www.toyotawest.or.jp/>



日本医療機能評価機構